

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2025 年 7 月 3 日
野村不動産ホールディングス株式会社
野村不動産株式会社

リリースカテゴリ

サステナビリティ

「LGBTQ+のマイホーム検討 自分らしいすまいを実現するマイホームハンドブック」を 「Tokyo Pride2025」にて初公開

～ 同性パートナーでのペアローン、カミングアウトの判断等、マイホーム検討時における疑問を解消 ～

本プレスリリースのポイント

1. LGBTQ+当事者の方が住宅購入を検討するための情報を集約したハンドブックを当社として初めて制作
2. 2023 年以降「ジェンダー平等・LGBT に関わるお客様対応ガイドライン」を全国のマンション販売拠点にて導入
3. 野村不動産グループとして 6/7・8 開催の「Tokyo Pride 2025」にて初出展

野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区／代表取締役社長：松尾 大作、以下「野村不動産」）は、このたび「LGBTQ+のマイホーム検討 自分らしいすまいを実現するマイホームハンドブック（以下「本ハンドブック」）」を新たに制作し、オンライン上で公開を開始したことをお知らせします。本ハンドブックは、同性パートナー同士での住宅ローン、セクシュアリティに関するカミングアウト等、LGBTQ+当事者の方が住宅購入を検討する際の情報を集約し、マイホームを持つ未来を考えるきっかけにさせていただくためのものです。

また 2025 年 6 月 7 日（土）・8 日（日）に東京都渋谷区にて開催され 27 万 3 千人が来場した「Tokyo Pride 2025（主催：特定非営利活動法人東京レインボープライド）」に野村不動産グループとして初出展し、本ハンドブックの案内やこれまでの取り組みを紹介するパネル展示等を行いました。

「LGBTQ+のマイホーム検討 自分らしいすまいを実現するマイホームハンドブック」紹介サイト

www.proud-web.jp/recommend/ally/



LGBTQ+のマイホーム検討
自分らしいすまいを実現する
マイホームハンドブック

住まいの考え方 住宅ローンについて

野村不動産の新築販売物件においては「提携の金融機関」をご紹介します。

パートナーとお二人で組む住宅ローンについて

住宅ローンはパートナーとお二人で借入することも可能です。
借入金額を貸付することで購入物件の返済が軽減され、ペアローンの場合は、お二人それぞれが住宅ローン控除の適用や団体信用生命保険への加入ができるメリットもあります。



【購入額（仮）】
単独ローン 5,000,000円
ペアローン 8,000,000円
※お二人の年収・お二人の年齢

お二人で借入をする住宅ローンの種類

AさんとBさんお二人で住宅ローンを借り入れる方法の例をご紹介します。

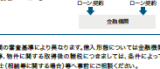
01 収入合算（連帯保証型）住宅ローン控除、団信は主債務者のみ適用

パートナーの収入を合算（主債務者の）収入に合算する方法です。合算した金額をもとに住宅ローンの審査を受けることができます。収入合算型は、連帯保証人になることが必要です。



02 ペアローン 住宅ローン控除、団信はお二人それぞれ適用

一定の収入のある別居パートナーと一緒にそれぞれが主債務者として住宅ローンを組む方法です。それぞれが相手の連帯保証人となります。



※借入額・返済額はイメージであり、実際の借入額は、金融機関の審査結果により異なります。借入利率については金融機関によりご利用の金利が異なる場合があります。住宅ローン控除、団信に適用する金融機関については、各件により適用可否が異なる場合があります。詳細は各金融機関にお問い合わせください。

「同性パートナーで借入をする住宅ローン」の取扱い提携金融機関

au JCB銀行 / SMBC 信託銀行 / SBI 新生銀行 / きらぼし銀行 / 宝庫銀行 / 住信 SBI ネット銀行 / 千葉銀行 / みずほ銀行 / 三井住友銀行 / 三菱UFJ銀行 / 武蔵野銀行 / クレディ銀行 / 横浜銀行 他

同性パートナーと住宅ローンを組むためには

同性パートナーと住宅ローンを組むためにはお二人の関係を婚姻と同等であると承認し、自身体が独自に発行する証明書が必要です。

※パートナーシップ証明書の発行については各自治体にお問い合わせください。

01 「パートナーシップ証明書（任意取得型）」

パートナーシップ制度を導入する自治体がお二人の関係を婚姻と同等であると承認し、自身体が独自に発行する証明書です。

02 「任意後見契約に係る公正証書（任意取得型）」

任意後見契約は、将来、認知症のような疾病で判断能力が低下した場合に備えて、ご自身の判断能力が低下した分あるうちに、ご自身の生活や財産管理に関することを代行してもらうこととなります。お二人の判断能力が低下した分あるうちに、ご自身の生活や財産管理に関することを代行してもらうこととなります。お二人の判断能力が低下した分あるうちに、ご自身の生活や財産管理に関することを代行してもらうこととなります。

03 「任意後見契約に係る公正証書および登記事項証明書」

任意後見契約は、将来、認知症のような疾病で判断能力が低下した場合に備えて、ご自身の判断能力が低下した分あるうちに、ご自身の生活や財産管理に関することを代行してもらうこととなります。お二人の判断能力が低下した分あるうちに、ご自身の生活や財産管理に関することを代行してもらうこととなります。お二人の判断能力が低下した分あるうちに、ご自身の生活や財産管理に関することを代行してもらうこととなります。

※金融機関により必要な書類が異なる場合があります。住宅ローンに際しては金融機関の審査があり、審査結果によってはご自身の収入・年収が不足する場合があります。住宅ローンに際しては金融機関の審査があり、審査結果によってはご自身の収入・年収が不足する場合があります。住宅ローンに際しては金融機関の審査があり、審査結果によってはご自身の収入・年収が不足する場合があります。

さまざまなケースにあわせて、金融機関をご提案させていただきます。

【LGBTQ+のマイホーム検討 自分らしいすまいを実現するマイホームハンドブック（表紙・一部抜粋）】

あしたを、つなぐ

野村不動産グループ

PRESS RELEASE

1. 本ハンドブックの概要と取組みの背景

野村不動産グループでは、2030 年までに取り組むべき 5 つの重点課題（マテリアリティ）の一つに「ダイバーシティ & インクルージョン」を掲げ、2022 年 9 月に「野村不動産グループ ダイバーシティ&インクルージョン推進方針」を策定しています。全てのグループ会社に所属する管理職向けの LGBTQ+ 研修、イントラネットを活用した定期的な社内啓発活動、人事部門の全担当者に向けた LGBTQ+ 相談窓口の研修等の取組みを通じ、LGBTQ+ 当事者を含む全ての従業員がいきいきと自分らしく安心して仕事に従事できるよう職場環境づくりに努めています。野村不動産を含むグループ 6 社では「パートナーシップ制度」を導入しており、「事実婚パートナーシップ」及び「同性パートナーシップ」関係を希望する社員も、法律婚と同様の処遇や福利厚生制度の利用を可能にしています※1。

そのような中で、グループ各社からも独自の取組みが複数生まれ、野村不動産の住宅部門では 2023 年に、「ジェンダー平等・LGBT に関わるお客様対応ガイドライン」を策定し、全国のマンションの販売拠点にて導入、自発的に「アライチーム※2」を組成し、顧客サービスや風土醸成に活かす活動を行ってきました。本ハンドブックはアライチームでの取組みの一環であり、「LGBTQ+ 当事者の方が住まいに関して直面する課題や社会に存在する障壁を解消し、誰もが自分らしい住まいを実現できる機会を提供したい」という思いから制作しました。「同性パートナー同士で住宅購入を検討するためには？」、「セクシュアリティのことをカミングアウトしなければならないの？」等、LGBTQ+ 当事者の方のマイホーム検討時における疑問を解消し、マイホームを持つ未来を考えるきっかけにさせていただくためのものです。制作にあたっては、株式会社 JobRainbow（本社：東京都千代田区／代表取締役 CEO:星 賢人）の監修を受け、LGBTQ+ 当事者の方へのインタビューを行いながら、当事者の方たちがマイホームを持ちたいと考えた時に、まず手にとっていただけるハンドブックとなるように必要な情報をまとめ、このたび公開に至りました。

※1 一部利用対象外の制度あり

※2 アライとは、LGBTQ+ を理解し支援する立場の人を指す



【LGBTQ+ のマイホーム検討 自分らしい住まいを実現するマイホームハンドブック（一部抜粋）】

あしたを、つなぐ

野村不動産グループ

PRESS RELEASE

2. 「Tokyo Pride 2025」への出展について

LGBTQ+ 当事者およびその支援者（アライ）とともに、人権や多様性について考え、つながる“場”を提供することを目的に、2012 年より開催している LGBTQ+ の国内最大級のイベント「Tokyo Pride 2025（主催：特定非営利活動法人東京レインボープライド）」が、6 月 7 日（土）・8 日（日）に東京都・渋谷区 代々木公園で開催され、当社グループとして初めてブース出展を行いました。当社ブースには 2 日間で約 3,500 名の方が来場しました。

当社グループのブースにおいては、本ハンドブックを閲覧できる二次元バーコードの配布を行った他、“Let's paint the town_”をテーマに、当社が推進する大規模複合開発である「BLUE FRONT SHIBAURA（東京都・港区）」について、LGBTQ+ の観点から好ましいと思うく街の中の施設や設備（公園、オフィス、ホテル等）>とくコンセプトやサービス（アライスタッフによる接客・対応、多様な背景に配慮したルール、・パートナーとのプライバシーが守られる空間等）>を 6 色の織り糸をかける形式で投票してもらうことで芝浦エリアの空に虹がかかったようなオブジェになるゲスト参加型のアクティビティを実施しました。



【「Tokyo Pride 2025」ブース出展の様子】

今後も当社グループでは、様々な活動を通じて、サステナビリティポリシーにおいて掲げた、「人と人がお互いを支えつながり合う、人間らしい暮らしを提供し、誰ひとり取り残さない社会」、「背景や価値観の異なる人々が個性を活かし合う創造的な社会」を実現するうえで重要であり、かつ重点課題（マテリアリティ）の一つであるダイバーシティ&インクルージョンを推進していきます。

PRESS RELEASE

野村不動産グループのマテリアリティとSDGsについて

野村不動産グループ マテリアリティ				
 DECARBONIZATION 脱炭素	 BIODIVERSITY 生物多様性	 CIRCULAR DESIGN サーキュラーデザイン	 DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ & インクルージョン	 HUMAN RIGHTS 人権
本リリースの取組が該当する マテリアリティ	野村不動産グループの取組特色		本リリースの取組が特に貢献する SDGs(持続可能な開発目標)	
 DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ & インクルージョン	D&I推進方針の施策や、多様な人材の活躍を促進することを通じて社会ニーズに応えられる商品・サービスを提供していきます。		5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等 をなくそう 16 平和と公正を すべての人に 17 パートナリシップで 目標を達成しよう	

※野村不動産グループの重点目標（マテリアリティ）を国連のSDGs（持続可能な開発目標）に当てはめて整理しております。

サステナビリティの取組み詳細は以下をご確認ください。

URL : <https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/>

【ご参考】

野村不動産グループ 2030 年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developer へ」の実現を目指し、グループ全体で、人びとの「幸せ」と社会の「豊かさ」の最大化を追求するため、2025 年 4 月に新たな経営計画を公表しました。

＜経営計画に定める 3 カ年計画の方針概要＞

基本方針		グループ全体で事業量の拡大を図り、持続的な成長を実現しながら、バランスシートを適切にマネジメントし、高い利益成長と高い資産・資本効率を両立する。
事業方針	基幹事業	分譲住宅事業・オフィス事業において、デベロップメント分野とサービス・マネジメント分野の連携を一層強化しながら商品企画力とサービス力を向上させ、確固たるポジションを構築する。
	注力領域	持続的な成長に向けて、以下5つに注力する。
		1 成長事業（賃貸住宅、ホテル、シニア住宅、物流施設）への重点的な投資
		2 開発事業、賃貸事業における投資家資金の導入
		3 グループ内連携、野村グループとの連携の強化
		4 海外事業の将来収益拡大に向けた取り組み
		5 戦略投資（M&A）による成長の加速

※3 カ年計画は長期経営方針を基に、特に注力する事業方針と戦略を示したものになります。

※経営計画の詳細は【[野村不動産グループ 経営計画](#)】をご確認ください。

あしたを、つなぐ